

第2次健康日本21ちた計画改訂（案）に対するパブリックコメント提出意見と市の考え方

意見募集期間：平成29年12月21日（木）～平成30年1月25日（木）

意見提出件数：1名12件

公表 No.	該当部分	意見概要	市の考え方
1	8ページ 介護給付費等の状況	要介護者が高齢者の人口割合以上に増えているのかが分かりにくい。要介護認定者を65歳以上の人口で割るなどして分かる表現にした方が良い。	介護給付費等の状況では、介護給付費が毎年増加していることを示すため、その要因として要介護認定者数を合わせて表示していましたが、ご指摘を受け、要介護認定率の方が知多市の介護を取り巻く状況が分かりやすいことから、要介護認定者数を要介護認定率に変更して掲載します。
2	20ページ 「がんの発症・重症化予防」	基本的な考え方に「がんのリスク要因となる生活習慣を改善し、がんを予防します。」と記載されているが、中間評価では、生活習慣の改善について分析されていない。	生活習慣については、数多くの視点があるため、「ただしい（望ましい）生活習慣を末永く」の分野で、中間評価を行う構成としております。
3	23ページ 「糖尿病の発症・重症化予防」	九州大学などのデータなどから糖尿病の発症予防には、マグネシウムの摂取量を増やすことが必要と考えられるが、マグネシウムの摂取量を増やす活動をしていますか。実施していない場合は、行った方が良い。	現在、知多市ではマグネシウムの摂取に特化した事業は行っておりません。マグネシウムを含む野菜等をしっかり摂っていただくなど、糖尿病の発症・重症化予防のために、効果的な生活習慣について啓発に取り組んでまいります。
4	27ページ 「栄養・食生活」	指標が「栄養バランスに気をつけた食事をしている子どもの割合」となっているが分かりにくい。「日本人が不足している栄養素について、これらの摂取に注意しているか」等、より具体的な指標にした方が良い。	中学2年生・小学5年生の「栄養バランスに気をつけた食事をしている子どもの割合」は、愛知県が実施している「学校における食育の推進に関する調査」、5歳児は幼児保育課が実施している「食育アンケート」の結果を用いております。計画策定時からの進捗状況を把握する必要があるため、指標は変更せず、最終年度である34年度に最終評価を行います。
5	42ページ 「次世代の健康」	「低出生体重児の割合」の平成28年度のデータはいくつか。	「低出生体重児の割合」の値は「愛知県衛生年報」を資料としており、平成28年度の確定値は発表されていません。
6	42ページ 「次世代の健康」	低出生体重児は、発達障がい・知的障がいや将来の生活習慣病が懸念される。日本の低出生体重児の割合は諸外国に比べて高い。この背景には、妊娠可能世代の極めて強いやせ願望や不自然なダイエットが根底にあるのではとの意見もある。この現状を踏まえ、若い世代に周知啓発することが必要である。	知多市においても、平成27年度まで低出生体重児の割合が年々増加しています。若い世代から現状を認識し、正しい知識を持つ必要があるため、周知啓発に努めていきます。

公表 No.	該当部分	意見概要	市の考え方
7	4 2 ページ 「次世代の健康」	出生数が減少している中でも増加している知的障がい、発達障がいの子どものことを記載し、評価する必要がある。	知多市障がい福祉計画及び知多市子ども・子育て支援事業計画で、障がい児の支援についての計画を定めています。このため、本計画では、障がいを持つ子どもについての記載はしていません。
8	4 2 ページ 「次世代の健康」	知多市のクレチン症の患者発見率の推移はどうか。	クレチン症の患者発見率は知多市は把握していません。愛知県がクレチン症の患者数を把握していますが、一般に公表されていません。
10	4 2 ページ 「次世代の健康」	知的障害の一つの要因であるクレチン症の新生児マススクリーニングの知多市の判断基準は適切か。	クレチン症の新生児マススクリーニングについては、都道府県および政令指定都市が実施主体となっています。愛知県では、タンデムマス法を用いており、T S H値が10mIU/L以上で再検査、15mIU/L以上で精密検査という判定基準となっています。
9	4 2 ページ 「次世代の健康」	クレチン症の患者の発見について何らかの対策を取っているか。	市独自に対策は行っていませんが、医療機関が把握した場合は、速やかに愛知県に連絡する体制になっています。
11	4 6 ページ 「高齢者の健康」	認知症予防には、葉酸やビタミン類の摂取が重要とされているため、情報提供を充実させてほしい。	ご指摘のとおり、認知症予防には食生活をはじめ、生活習慣に気を配ることが重要です。葉酸やビタミン類等を多く含む野菜や果物、魚介類等をしっかり摂ることや、運動習慣、睡眠等、生活習慣の改善についての情報提供を充実させていきます。
12	4 8 ページ 「健康づくりを支援する環境整備」	ビタミン、ミネラルの不足は、病気や死亡の原因になるので、栄養の重要性を説明する活動が必要ではないか。	平成24年度、28年度の「国民健康・栄養調査」において、愛知県の野菜摂取量が全国最下位という結果がありました。野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり!!ヘルシーメニュー」においては、知多市の健康課題である糖尿病をはじめ、生活習慣病を予防するためにも野菜をしっかり摂取することや、肥満・低栄養の予防のためのエネルギー量の設定等、外食においても健康的なメニューが選択できる環境づくりを進めていきます。また、食事について、正しい知識が得られる機会や情報を提供する場を増やしていきます。